

BBT大学 Rails開発環境セットアップ マニュアル

Mac版

このマニュアルについて



- このドキュメントは BBT大学「ウェブサイトデザイン 応用」で利用するRails開発環境構築マニュアル です。
 - このドキュメントはMac向けです。Windows向けドキュメントは別途ダウンロードできます。

目次



- Rubyのインストール
- Railsのインストール
- Aptana Studio 3のインストール
- Aptana Studio 3の起動
- Railsプロジェクトの作成



Rubyのインストール

Rubyのインストール



- Macには既にインストールされているので、 念のためインストールされているかを確認する
 - ターミナルを起動する



• ruby -vとコマンドを入力し最後にEnterキーを押す - Rubyのバージョンが表示されればインストールされている

bash-3.2\$ ruby -v ruby 1.8.7 (2010-01-10 patchlevel 249) [universal-darwin11.0]



Railsのインストール



- Railsはすでにインストールされているが、バージョンが古いため最新バージョンへアップデートする
 - 長時間かかるので電源やネットワークが切れない状態で行う
 - Gemというパッケージ管理システムを更新してからrailsのパッケージを更新する
 - 1. sudo gem update --system
 - 自分のログインパスワードを入力する
 - 2. sudo gem update

bash-3.2\$ sudo gem update --system Password: bash-3.2\$ sudo gem update

Railsのインストール確認



- 以下のコマンドを入力し、railsのバージョンが3.0.9以上になっているか を確認する
 - · gem list rails

bash-3.2\$ gem list rails

*** LOCAL GEMS ***

rails (3.0.9)

Aptana Studio 3のインストール



- ファイルの編集を行うためのエディタとして統合開発環境(IDE)のAptana Studio 3をダウンロードする
 - http://www.aptana.com/products/studio3/download



Aptana Studio 3のインストール

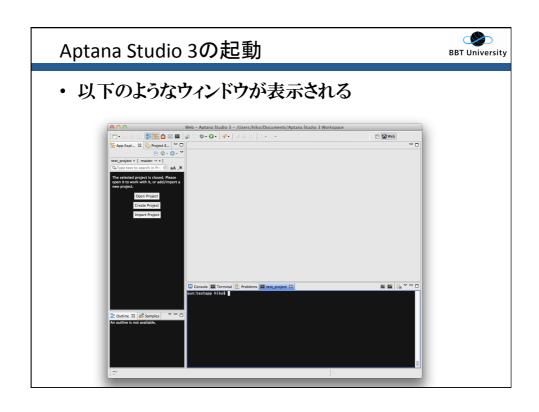


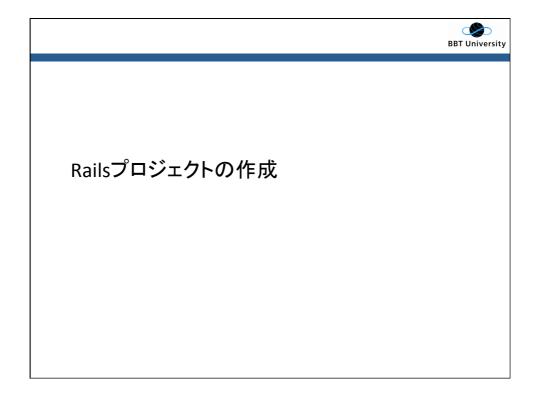
- ダウンロードしたファイルを解凍して開いてインストールする
 - アプリケーションフォルダヘドラッグアンドドロップする



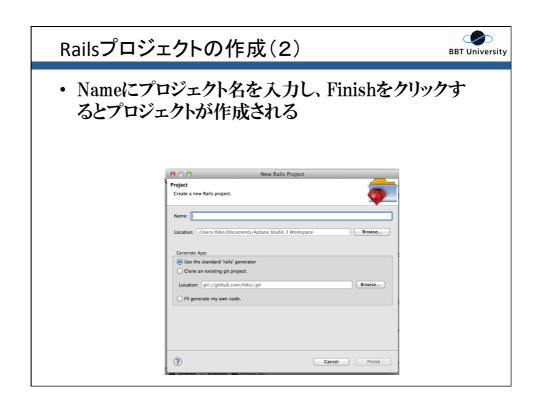








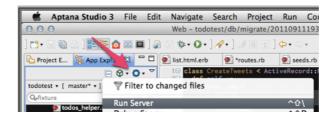




Railsプロジェクトの作成(3)



• App Explorerのギアの形をしたアイコンから、Run Serverを選択して、サーバを起動する



Railsプロジェクトの動作確認



- ブラウザで以下のURLにアクセスし、 「Welcome aboard」と表示されるとRailsが正常に 動作していることが確認でき、セットアップは完了。
 - http://localhost:3000/



